

単元名：ふしぎなたまご

「じぶんだけのたまごをかこう！」

(全6時間扱い中 第2時)

授業日時 2021年10月13日(水)第5校時

授業学級 2年西組

授業会場 2年西組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立て&ねらい)

(○○の子ども達が)○○の場で、○○を通して、○○を□□することができる／できるようになる。

「たまごからこんなものが生まれてほしい」と願いを持った子ども達が、表したいおもいに合ったたまごについて考える場面で、自分の好きな色や模様、形を見つけることを通して、表したいおもいに合ったたまごを描くことができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 活動の説明	「白い～」 「丸い形してる！」 「ころころしてる」 「何も書いてない！(無地)」	「今日は、みんなにたまごを描いてもらおうと思います！みんなたまごって、どんな形や色してるかな？」 ※子ども達からたまごの特徴を挙げてもらうため、教師側からは言わない ※ここで画面にたまごの写真を写したり、特徴を確認したりする。(ICT) 「そうだね、たまごって白くて丸い形をしてるよね！模様も何もついてないね！でも、今日みんなに描いてもらいたいのは、みんなの好きな色、好きな形、いろんな模様がついたたまごです。」 ・ここであらかじめ描いてきた例を、 「先生も描いてみました、例えば～」などと言いながら例を見せる。 【作品例】	7分
		【学習問題】表したいおもいに合ったたまごを描こう。		
		「どんな形にしよう？」 「かっこいいやつにする」 「前回恐竜が生まれそうって考えたから、大きくて強そうなたまごを描こう」	「これからみんなに画用紙を配るので、その画用紙にみんながこんなのがいいと思うたまごを描いて下さい！どんな形でも、どんな色でもOKです。模様も描いていいからね！」 「前回みんなこんなたまごにしたいって考えたと思うので、それを参考に描いてみて下さい！」 ※説明に使った作品例は黒板に貼って子ども達が迷った時にまた見れるようにする。 【画用紙、作品例】	
	【学習課題】自分が表したいおもいに合ったたまごってどんなたまごかな？			

展開	2. たまごを描こう	「ハート描きたい！」 「ドラゴン生まれそうなたまごがいい」 ・子ども達それぞれがこんなたまごにしたいという思いを持って、それに合わせた形や色や模様を選択していく 例：ハート型の可愛いたまごにしたからピンクを使おう、中にもハートの模様を描こう 例：前回青い鳥さんが生まれそうなたまごにしたいって思ったから、綺麗な水色のたまごにしよう 例：強い恐竜が産まれるたまごにしたいって思ったからごつごつした大きいたまごにしよう	「それでは 30 分時間を取るのでみんな自由にたまごを描いてみてください。みんなが前回の授業で考えた「こんなものが生まれそうなたまごにしたい」のおもいに合った形や色や模様を描いてみてね！」 「先生はみんなのところ見ながら回っているのだから分からないことがあったら聞いてね」 【画用紙、クレパス、クーピー、色鉛筆、チョーク、鉛筆】 ※描けなくて困っている子が描くヒントを見つけることができるように、教師は教室を歩いて回りながら、話を聞いてアドバイスをしたり、一緒に描いてみたり、おもいに合う形や色、模様を一緒に探してみたりする。 「終わった人は周りの友達と見せ合ってもいいよ！」 ※制作に集中したい子どもが集中してできるように、教師はある程度時間がたった状態で声をかける。 ※書き終わらなかった子、まだ付け足したい子は本授業後空き時間を利用して進める。	30 分
終末	3. 活動を振り返る	「俺のたまごかっこいい」 「私のたまごはすごいもの生まれるよ！」 「僕のたまごは下から割れる！」	「では書き終わった人もそうでない人も一旦終わりにしてください」 「みんな今日はそれぞれでとても素敵なたまごが描けていたと思います。」 「次の時間では今日描いたたまごを割って、中から産まれてくるものを考えながら貼るという授業をします。みんなのたまごをどうやって割ろうかぜひ考えてみてください！」 ※描いた作品のたまごは集める 次の授業までに子ども達の手元に戻るよう返す。 「では、最後に感想用紙を配るので書いて前にまわしてください、描いたたまごも紙の裏に名前を書いて感想用紙と一緒に前に送って下さい。」 【感想記入用紙】	8 分

【本時の評価（評価する対象）】

自分の表したいおもいに合ったたまごを描くことができる（制作時の様子、感想記入用紙、作品）